

## 業績目録（令和4年）

大学院科目名：生体構造科学

(A-a) 英文著書 なし

(A-b) 和文著書

- 1 \*田口勝敏. 培養系を用いた組織細胞化学解析の基礎と応用. 組織細胞化学 2022. 日本組織細胞化学会編集, 学際企画, 東京:pp87-99, 2022.
- 2 \*山田俊児. ウイルスベクターを用いた神経回路トレーシング法. 組織細胞化学 2022. 日本組織細胞化学会編集, 学際企画, 東京:pp199-210, 2022.

(B-a) 英文総説 なし

(B-b) 和文総説

- 1 \*田口勝敏、田中雅樹. パーキンソン病における  $\alpha$ -シヌクレインを介した神経変性メカニズムについて. 京都府立医科大学雑誌 131: 123-132, 2022.

(C-a) 英文原著

- 1 \*Sotozono Y, Ikoma K, Kido M, Onishi O, Minami M, Wada H, Yamada S, Matsuda KI, Tanaka M, Takahashi K. Sweep imaging with Fourier transform as a tool with MRI for evaluating the effect of teriparatide on cortical bone formation in an ovariectomized rat model. BMC Musculoskelet Disord 23: 16, 2022. (運動器機能再生外科学との共同) (IF=2.562)

(D) 学会発表

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

- 1 田口勝敏. 招待講演 培養系を用いた組織細胞化学解析の基礎と応用. 2022. 8. 4-6. 第 47 回組織細胞化学講習会. 京都 (京都府立京都学・歴史館).
- 2 山田俊児. 招待講演 ウイルスベクターを用いた神経回路トレーシング法. 2022. 8. 4-6. 第 47 回組織細胞化学講習会. 京都 (京都府立京都学・歴史館).

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Shunji Yamada. Functional and anatomical analysis of NPY neurons in the nucleus accumbens. Symposium; NPY. 2022. 5. 30-31. NPY webinar 30-31 May 2022 (Web 開催).
- 2 山田俊児, 田中雅樹. 側坐核のニューロペプチド Y 発現ニューロンが不安行動に及ぼす影響とその解剖学的解析. シンポジウム; 信号伝達分子として働く神経ペプチドの多彩な作用を理解する. 2022. 3. 27-29. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会. (Web 開催).

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 400 万円

公的助成

代表（総額）・小計 350 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和3年～令和5年度  
神経特異的なオートファジー活性可視化マウスのストレス・情動系機能形態学的研究 助成金額 100 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和2年～令和4年度  
妊娠に伴う感覚感受性変調に対する基礎的検討 助成金額 90 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和3年～令和5年度  
細胞間伝播性 $\alpha$ -シヌクレインシード産生機構の解明とプリオン様伝播阻害への応用 助成金額 90 万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年～令和4年度  
炎症型血管周囲ミクログリアと高血圧による脳血管障害をつなぐシグナル伝達機構の解明 助成金額 70 万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 50 万円

- 1 清水免疫学・神経科学振興財団研究助成 令和4～6年度  
慢性高血圧からの脳小血管保護を目的とした血管周囲ミクログリア活性化機序の解明 助成金額 50 万円